

1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2870901879		
法人名	株式会社 ユーサイド		
事業所名	グループホーム フレーゲ甲子園		
所在地	兵庫県西宮市鳴尾町2-25-22		
自己評価作成日	平成26年12月26日	評価結果市町村受理日	2015年 3月 24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成26年12月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人ひとりが家庭的な環境のもとで、安全に安心して穏やかな集団生活を送れ、自分の持っている力を発揮することができ可能な限り自立を営むことを支援し、個々のペースで生き生きとした生活が送れるように援助しています。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所開設10周年の集いを、地域住民や家族関係者を招いて行った。母体医療法人の協力で、安心安全で明るい笑顔の絶えない家庭的な雰囲気重視したケアが提供されている。10年間の積み重ねは貴重なものだ。誕生日のお祝いは、利用者個々の誕生日に行い、法人の医師の往診には、希望する家族が立ち会い、質問できる等の細やかな配慮もある。今後は新しい人員体制で、温かい食事の提供や利用者の好みを反映したリクリエーション、地域の保育所や幼稚園との連携、職員のスキルアップ等を検討している。更なる飛躍に向け、職員が必要な知識、技術を獲得する研修の充実と地域、家族に協力を求め、課題解決し、活動の幅を広げる取り組みを期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	者三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に密着し貢献する理念を、玄関ホール、各階事務所の見える所に掲示すると共に職員が常に意識し実践に繋げている。	安心して過ごしてもらうことを目標に、理念に基づき、本人、家族の視点に立った支援に努めている。毎月のリーダー会議で理念を共有し、利用者が心身ともに安心して喜んで生活しているか確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の子供会のお祭りや、中学校文化祭の作品展、及び自治会のふれあいサロンへの参加や地域の方々との交流を行っている。	自治会に加入し、公民館の集いや中学校の文化祭に利用者が出展し、見学に行く等地域との交流がある。フレーグ10周年の記念パーティーには地域の人の参加もあった。事業所では、今後、幼稚園、保育所との連携や地域の相談窓口になりたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	トライやるウィークの受け入れで中学生に認知症を学ぶ機会を提供しており又、地域清掃活動にも参加し、地域の人々と交流を計り貢献している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し施設状況の報告や、推進委員の方々に意見を頂きサービス向上に活かしている。	家族代表、民生委員、市等が参加して定期的に開催。会議では、事業所の現状報告、市や地域からの情報提供、参加メンバーからの質問を受け、意見交換している。防災は地域全体の課題でもあり、継続協議している。会議に関する情報を出席する家族代表以外には提供していない。	全ての家族に運営推進会議録を送り、話し合いの内容や今後の取り組みについて理解してもらい、事業所の応援をお願いされてはいいか。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	西宮市の関係機関の方々と密に連絡を取り、協力関係を築くよう取り組んでいる。	利用者の暮らしぶりやニーズの具体的内容を市に伝え連携を深めるには至っていないが、介護保険事業に関する市の関係部署とは連絡を密にしている。グループホーム連絡会に市の出席はない。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員に身体拘束に関するマニュアルを回覧し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関前は交通量が多く、外部からの不審者の侵入の可能性もあるので安全性を最優先し施錠しているが、最善の方法を模索中です。	身体拘束禁止の規定に則り、身体拘束を行う場合がある。職員間でマニュアルを回覧しているが、研修は行っていない。玄関の施錠もある時間帯開錠したが離脱者があり、現在は入居者の希望に対応し一緒に外出し、閉塞感の解消に努めている。	身体拘束に関する研修を行い、職員の理解を深めていただきたい。玄関の施錠も含めた事例等を参考にして身体拘束をせず、事故を防ぐための工夫の検討を期待したい。
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為に日頃から利用者に対しての関わり方に注意をはらい、基本的には入浴時や更衣時に身体に異変が無いか確認し防止に努めている。又、日々の会話においても言葉使いに注意をするよう職員に促している。	重度化に対応するため、職員間で連携し、虐待を防止し、不適切なケアが無いよう努めている。管理者は職員の様子を見て、声かけしている。有給休暇取得や希望を聞きシフトを組むなど、職員がストレスを貯めず、働きやすい環境を整備している。虐待防止の研修は行われていない。	勉強会やミーティング等を実施し、高齢者虐待防止法に関する理解を図っていただきたい。

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入居者様の個々の必要性に応じて活用出来るよう支援している。	家族に成年後見制度の情報を伝え、利用につなげたケースがある。現在制度利用者が1名ある。三者懇談にも同席してもらっており、職員も制度について理解がある。資料は準備しているが、職員への研修は行っていない。	新たに成年後見制度や日常生活自立支援事業の活用が必要と思われる人や、一層の支援が必要になった時に備え、すべての職員が理解を深めて置くことが望ましい。
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時、改定等の際は、契約書、重要事項説明書、その他必要書類を一字一句読み上げ、理解・納得して頂けるよう十分な説明を行っている。	重要事項説明書と契約書を基に、十分時間をかけて、説明、納得を得ている。具体的な事例を出し、費用や一日の生活の流れ等をわかりやすく説明している。まず、2～3日体験入居してもらっている。	
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・御家族様との三者面談の実施や、玄関に意見箱を設置し御意見や要望を頂き反映できるようにしている。	三者面談(年1回)、ケアプラン作成時、家族来訪時に意見、要望を聞いている。利用者の要望でカラオケ機器を購入したり、家族の要望で外食行事を取り入れる等、出された意見を運営に反映させるよう努めている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行われる運営改善会議、スタッフ会議、年2回の個人面談等で、職員からの意見や提案を聞き運営に反映させている。	会議や面談で職員の意見を聞く機会を設けている。1階のトイレは、利用する時間が重なることが多く、利用者に負担がかかるので、トイレを増設した。さらに、24時間対応の看護師と協力医療機関への緊急時の連絡体制を整備する等、出された意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課と個人面談を実施し、職員の個々の努力や実績を評価をし各自が向上心を持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内・外部の研修の機会を確保し参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、意見交換や相談を行いサービス向上に努めている。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15			○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の生活環境の変化による不安感の軽減を第一に、声かけや会話を心がけ、できる限り寄り添って思いを受け止め困っていることを見極めて安心した生活が送れるよう支援し、信頼関係を築くよう努めている。		
16			○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様との話し合いを重ね、御家族等の思いをしっかりと受け止め少しでも負担が軽減し安心してもらえるよう努めている。		
17			○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人及び御家族等の要望をもとに必要なサービスを見極めて調整を行い、速やかに実行して安心してもらえるよう努めている。		
18			○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常の会話の中で入居者様の人生や知識を学び、日頃見られない一面を見出すよう努めている。		
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様と御家族様とが、より良い関係を築いていけるよう、又、入居者を共に支援する者同士としての関係が築けるよう努めている。		
20	(11)		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様や御親戚、知人、友人と外出や面会は自由にして頂き、馴染みの関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居時に馴染みの関係を聞き取っている。以前行っていたスーパーや医院で知り合いと再会を喜ぶこともある。昔世話になった人の訪問もあり、趣味の編み物を楽しむ人もいる。抹茶を飲む機会を提供する等、これまで大事にしてきた人や場所の関係が継続できるよう支援している。	
21			○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の状況や会話等により御利用者同士の関係を把握し、共同で作業が出来る機会を作り、共同生活が円滑に送れるよう努めている。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22			○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も必要に応じて相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(12)		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の様々な対話の中で少しでも本人の思いを把握出来るよう努めている。	職員と居室でゆっくり話したり、利用者同士の会話の中や家族からの情報を得て、思いや意向の把握に努めている。把握困難な場合は、顔色、様子、笑顔等の表情から推測している。	
24			○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報を把握し、御本人や御家族様に生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を得て個々に合った支援が出来るよう努めている。		
25			○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の日課計画表を元に一日の流れを把握し、申し送りや記録で職員同士で情報共有し、現状の把握に努めている。		
26	(13)		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回の会議で意見交換を行い、御本人や御家族様の要望も聞き、必要に応じて見直しを行い現状に即した介護計画を作成している。	利用者、家族の要望を基に、居室担当者、計画作成者で原案を作成、利用者、家族の同意を得て計画が作成されている。入居者個々のペースに合わせて生活できるよう、出来ることに着目した計画になっている。モニタリングは毎月、定期見直しは半年毎。変化に応じた計画の変更もある。	
27			○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や会話、気づき等を記録や申し送りで、全職員が情報共有し、ケアや介護計画に活かしている。		
28			○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じてニーズに対応できるよう、努力している。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29			○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	誕生日ケーキ等を近隣のお店に注文し買い物に出掛けたり、中学校の作品展に出品し見学に行っている。		
30	(14)		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人や御家族等の希望する医療機関に受診及び往診を依頼し適切な医療を受けられるよう支援している。	利用者、家族の意向を優先し、これまでのかかりつけ医の受診を継続している。協力医療機関等の往診利用も希望でき、相談に応じている。受診時、利用者の状態等必要に応じて看護師が同行する場合もある。他科の往診も対応している。	
31			○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	申し送り及び利用者個人のケース記録により日常生活や身体状況等の情報を提供、共有し健康管理や受診等支援している。		
32	(15)		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は速やかに治療が受けることができるよう情報提供を行い、入院中以外でも定期的に訪問し病院スタッフとのコミュニケーションをはかり関係作りを行っている。	看護師と主治医との密な協力体制が図られ、早めの対応により入院回避ができています。入院時は、協力医療機関等とのスムーズな連携体制により、適切な対応ができています。施設長が見舞い、利用者や家族の不安軽減を図るとともに、早期退院に向け、医療関係者との情報共有に努めています。	
33	(16)		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所でできることの説明を行い、体調変化時には早い時期に御家族様と話し合いを行い方針を共有できるよう支援している。	契約時に、事業所の方針を説明し、その時点での利用者、家族の意向を確認しているが、状態変化等の場合にも、主治医を交え、話しをしている。状況を見極めながら、家族の不安を無くすよう意向に添った支援を心がけている。職員は、研修として学んでいないが、主治医や看護師の指導を通じて身近に学んでいる。	
			○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に講習を受け、実践力を身につけるよう努めている。又、過去の事例を参考に職員に指導を行っている。		
35	(17)		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行うと共に、職員が落ち着いて対応できるよう災害対策マニュアルを作成している。	年2回、昼夜想定で消防署立ち合いの下で、避難訓練を実施している。すぐ前が消防署で環境的には恵まれているが、とっさの時の対応を常に意識し、可能な限り実践に即した訓練を行うようにしている。近隣との協力関係を深める働きかけも、検討している。	

自己	第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し言葉使いや対応方法について職員との話し合いを行っている。	職員は、法人内研修で、マナーや接遇等について学ぶ機会を持っている。管理者は、利用者と呼ぶ時や職員間の会話の際など、気が付いた時にその場で注意するようにしている。特に、排泄時の見守りや声かけの際には、羞恥心に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り傾聴し、御本人の思いや希望を把握し、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事開始時間と入浴時間以外は各個人のリズムに合わせて生活していけるよう希望を聞きながら支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できる限り御自身でその日の服を選んで頂いている。男性の入居者様には毎朝ひげそりを行っている。定期的に訪問カットも利用している。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	以前は共同で作業をしていたが、状態の変化により現在は調理や準備、片付けは職員が行っているが、調理室から食事を運ぶ手伝いをして頂いている。又、食事時に各テーブルに職員を配置し食事の感想等を聞き検食簿に反映している。	業者から食材が配送され、調理専門の職員が調理している。形態や味付け等については、各フロアで検食簿に記入し、それを参考にして調理職員は、利用者の好みに反映している。盛り付けや後片付けに利用者は関わっており、手作りおやつと一緒に参加している。職員は介助しながらも、一緒に食している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量を記録し個々の状況により対応している。月2回の体重測定により増減を把握し調整している。食事以外にも水分補給して頂くよう提供しこまめな水分補給を心がけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の状態に応じて口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。		

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助を要する御利用者には定期的にトイレ介助を行い、トイレでの排泄を促している 見守りを要する御利用者には自尊心を傷付けないよう心がけ対応している。	排泄チェック表でパターンを掴み、時間やタイミングを見て声をかけ、誘導している。基本、トイレでの排泄とし、夜間は、ポータブルトイレの使用やパット交換、或いは声かけするなど、利用者の習慣や個々の状況に応じて適切に対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や野菜ジュース等も取り入れた水分補給や、体操を行い予防に取り組んでいる。		
45	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できる限り、個々の入居者様の意志を尊重し入浴を楽しんで頂けるよう支援している。	少なくとも週2回は入ってもらおう、柔軟に声をかけている。希望で週3回入浴している人もおり、意向を尊重して入りたい時に入ってもらっている。2人で介助することもある。季節風呂や好みの湯温等、気持ち良く入浴してもらおう心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できる環境づくりに配慮し個々の生活のリズムに合わせて休息や安眠ができるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	症状の変化等は観察を行い必要に応じて医師に相談しており、薬剤師による薬剤管理指導も受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の入居者様に合ったレクリエーションを考え提供できるよう努めている。又、個々に応じた役割により実感と自信を持って頂けるよう支援している。		
49	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調や天候を考慮し散歩や買い物に出かけられるよう努めている。又、外食行事を取り入れ、日頃外出の機会が少ない入居者様にも楽しんでもらえるよう支援している。	普段の会話の中から、行きたい所やほしい物の意向を聞きとり、支援につなげている。気候のいい時期は、隣の公園に散歩に行ったり、100均への買物、衣類の購入などにも行っている。家族と一緒に食事や買物に行っている人もいる。恒例となっている花見や外食も楽しみとなっている。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50			○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失防止の為事務所で管理しているが、希望があれば職員が同行し買物等ができるよう支援している。		
51			○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人や御家族様の要望を聞き、都度対応している。		
52	(23)		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付け等を入居者様と共に作成し居間や廊下に飾り季節を感じて頂いている。	各フロアごとの特徴が活かされ、職員、利用者の手作り品が飾られ、季節感が感じられる。3階フロアには畳スペースが設けられている。廊下に置かれているベンチは、個別にほっとできる居場所になっている。	
53			○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々の意志を尊重しながら思い思いに過ごして頂いている。居間では気の合った入居者様同士が過ごせるよう座席の配置の配慮を行っている。		
54	(24)		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や好みの物を持ち込んで頂き、居心地良く落ち着いて過ごして頂けるよう工夫をしている。	ベッド、大小の整理ダンス、クローゼットが常設されている。使い慣れた家具や椅子、テーブルが置かれている。趣味の小物や本、写真等が飾られ、その人なりの生活の様子がうかがわれる。	
55			○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレ、洗面所等の場所の表示をし、一人ひとりが安全に安心して自立した生活が送れるよう工夫している。		

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

自己 者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容